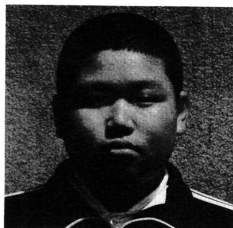




おじいちゃん その 語り



三 浦 大

(相内小・6年)

おじいちゃん
からの
ひとこと

孫の名前は犬。体重は75kgもあり学校では相撲をやっている。昨年北郡の相撲大会で個人3位の成績であったので、今年の大会を楽しみにしている。できれば、相撲を続けてほしいナァ……。

竹麿 (72歳)

今月の主な記事

- 三重 資村長再選 2
- 就任あいさつ 3
- 工藤助役・成田収入役
就任あいさつ 3
- 柏谷秀一教育長逝く 4
- 中の島公園オープン 5
- サケ放流 6
- 市浦中PTA努力奉仕 6
- 交通事故防止に街頭指導 7
- 歴史漫步 8
- おしらせ 9
- 健康への道 10
- 戸籍の窓

おじいちゃん、とても働き者です。田植や稲刈りの時は、お父さんに手伝ってとんどん仕事をします。ほかにも田んぼに行きますがおじいさんの仕事ぶりを見て、とても要人とは思われないほど、上手にとんどんやっというのを見て感心させられます。

おじいさんは、ひまな時はほくの遊び相手になつてくれます。春や秋には近くの山へ連れて行き、山つちをわらび、音やあげび取りをします。また雨の日などは、ほくの将棋の相手をしてくれます。ほくの実力は、まだまだとてもおじいさんには勝てないです。

ほくは相撲部にはいっていませんが、各地で開かれる相撲大会にはいつも、弁当を作つて応援に来てくれます。ほくは土俵にあがつて相撲をとる時、おじいさんが見てくれるので勇氣がわいて、勝つてやさうとフアイトが出たときとても心強いです。

冬にはお父さんが出稼ぎに行つて留守ですが、おじいさんが、お父さんかわりをして雪餅いや、雪片付けをしてくれます。

ほくはこれから元気で、いつまでも長生きをしていられるのを祈っています。

なんでもできるおじいさん

市浦村長に

三重貢氏再選

統一地方選挙を締めくくると市浦村長、市浦村議会議員の選挙は、四月十八日、県内四十一市町村で行われましたが、本村では、村長選挙が執

就任あいさつ 一粒の種を 育てて村づくり

私は、去る四月二十六日行われた統一地方選挙におきまして、村民多数のご支援をいただき、市浦村長に再選されました。

村民各位には、心から感謝申し上げます。

過去四年間、私は「海と山と湖」という、無限の資源を活用し、第一次産業の生産倍増と、二百人雇用の新たな労働市場の創出を図るなど、

行され、三重貢氏が再選されました。

再選された三重村長に、二期目に当たつての抱負を語つていただきます。

先見性と独創性」を發揮した村おこしを進め、若者の定住促進と、過疎からの脱却を基本的な政策課題に掲げて、誠心誠意努力して参りました。

その間、農業では、未利用地の有効活用による複合経営を図るべく、収益性の高いミニク栽培の普及奨励、ハウス栽培展示園など、その可能

性を探つて参りました。

畜産については、先行き不透明な畜産事業のより一層の振興を図るべく、社団法人市浦村畜産振興公社を設立させるなど、生産者と行政が一体となつて、積極的に振興施策を展開してきたところであります。

水産業については、脇元地区にアワビ漁場の造成を図り、今年度からは、十万個の稚貝放流を進める中、中間育成施設の整備を進めるほか、サケの増殖施設の拡張など、つくる漁業を充実させ、漁民生活の安定向上のため努力を重ねてきたつもりであります。

十三湖のしじみ対策については、今後の資質回復のための抜本的な恒久対策を打たなければならぬとも考えております。



市浦村長 三重 貢

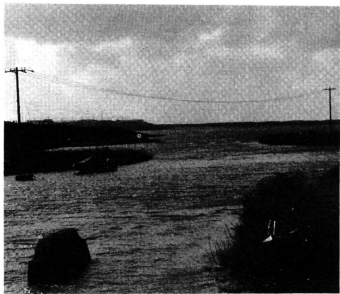
また、西海岸地区の熱い視線の中で、十三地区の前海に念願の中間育成施設が着工されることになったことは、これまで地道な運動の成果だと考えております。

観光については、本村の持つ歴史と文化財を生かした「安東文化のふるさとづくり」に着手し、十三湖中の島公園、福島城跡、唐川城跡、山王坊遺跡、大沼公園の整備など、安東文化の盛り起しによる観光産業の基盤づくりに意を注ぎ、本村の基幹産業の一つに位置づける所存であります。

今年はいよいよ十三湖中の島に、安東氏の歴史資料館と都市住民との交流を図るための地域活性化センターの建設に着手する中で、多様な自然とロマンに満ちた観光開発が可能になると期待しています。

本村は、合併以来三十年の歩みの中で、一千八百人の人口が減少しましたが、産業構造の多角化を積極的に進め、若者が定住できる安定した就業の場をつくるため、地場産業の育成や企業誘致に取り組んで参ります。

私の言う、二百人雇用の体制づくりは、単に企業を誘致するだけではなく、一次産業の加工を行い、それに附加価値



ヒラマメの中間育成施設の建設が待たれる前湯。

値を高め、一・五次産業の振興を図ることもあります。

農水加工センター、木材工芸センターも、四月から生産活動に入っていることから、特産品づくりを図り、これらを観光産業と連動させ、地域経済の起爆剤にしていこうと考えております。

以上、過去四年間、主なる施策を述べましたが、これらは一粒の種をまいたに過ぎません。今後、これにどんな肥料を与え、どんな花を咲かせ、どんな実を結ばせるか、すべてが、今後に残されてお

ります。

いまの市浦にとって、この時期は一番大事な時期であります。自分で来た多くの種が、そろって芽を出すまで、丹精込めて、その手入れをすることが、今後四年間の私に課せられた最大の使命であり、責任でもあると、肝に銘じております。

今後、さらに心を新たに、村政推進のため最善の努力を致す所存でありますので、村民みなさまのご指導ご協力をお願い申し上げます。就任のごあいさついたしました。

助役 工藤 誠一郎氏 収入役 成田 義衛氏 再任

去る五月十二日、村臨時議
会が開かれ、村助役に工藤誠
一郎氏(57歳)、村収入役に
成田義衛(63歳)が再任さ
れました。



助役 工藤 誠一郎



収入役 成田 義衛

このたび再任された工藤助役、
成田収入役に、就任の抱負を語
っていたいただきました。

就任あいさつ

務めたほか村議会議員として
四期。その間、村監査委員、
土木常任委員長を務め、昭和
五十八年五月から現職。昭和
収入役に再任された成田氏は
昭和三十八年から昭和四十六
年まで、同村産業経済課長を
務め、昭和三十九年の旧
三村合併後も、議会事務局長
や税務課長を務めました。

去る五月十二日の臨時議会
において、助役に再任されま
したが、過去四年間は浅学の
身で、村民各位のお力添えを
いただきましてことに、心
から感謝いたしております。
「地方の時代」といわれて久
しいが、地方の時代は誰かに
造ってもらうものではなく、
自らの手で進めなければなら

これまでの四年間は、みな
さんのご指導を得て、大過な
く過すことができました。
いま、合い言葉のようにい
われている「21世紀に向けて」
も、あと三年で現実のもの
となります。
21世紀に対応できる人づく
りと、安心して住める富のあ
る村づくりのため、三重村政

昭和四十六年に役場を退職、
村議会議員として三期活躍し、
その間、監査委員、総務常任
委員等を務めました。
昭和五十八年五月、村収入
役に就任、現職二期目となり
ます。

ないものだと思います。
村財政の硬直化と合わせて
水田農業確立対策、沿岸漁業
の基盤等厳しい情勢化にあり
ますが、まとまりと方向にお
ける地域社会の形成と、生
産性の高い村づくりのため、
職務に専念するつもりであり
ますので、よろしくご指導ご
協力をお願い申し上げます。

が前進します。
行政の立場でできる上限ま
での施策に歩調を合わせて、
少しでも多く、村長の補助的
役割りができればと、考え
ています。
今後も、村民各位のご指導
ご協力をお願い申し上げます。
任のごあいさついたします。

市町村別の 交通事故防止コンクール実施

青森県では、交通事故防止
対策事業の一環として、県警
察本部・県交通対策協議会、
その他関係機関、団体の協力
のもとに、「市町村別交通事故
防止コンクール」を実施す
ることになりました。

- 市町村別交通事故防止コンクールは、各市町村に居住する者が、県内において発生した交通事故は、すべて、市町村に算入する方式で実施するものです。
- この事業は、「あすを拓くあすなろ県民運動」が発足して十周年に当たることから、交通ルールを守る運動推進部会の事業と併せて行うものです。が、当村においては、関係機関、団体と連携を密にし、効果的に運動を推進するとともに、地域住民に対し、交通安全意識の高揚を図ることにしています。
- 「市町村別交通事故防止コンクール」の実施要綱は、次のとおり定められています。
- 目的 各市町村の交通安全な交通事故防止対策を推進するとともに、住民の交通安全意識の高揚と地域を連帯感の高い、交通事故防止を促す。
- ◆実施期間 昭和六十二年六月一日から同年十一月三十日までの六カ月間。
- ◆主催 青森県、青森県警察本部・青森県交通対策協議会
- ◆実施要領 各市町村居住者が県内において起こした交通事故件数に対し、次の要領により評価点を算出し、地区グループに分けて実績を評価する。
- ▼事故等の基準点数 点数は、当該市町村居住者が県内において起こした交通事故に対し、その市町村に算入し、発生地へは算入しないものとする。
- 交通事故に付される点数
 - 交通事故死者に付される点数 一名につき、100点。
 - ▼A地区(旧三市) 一位のみ
 - ▼B地区(新五市) 三位まで
 - ▼C地区(町) 五位まで表彰
 - ▼D地区(村) 五位まで表彰
 - ▼各グループ別に市町村の実績を評価し、成績優秀な市町村については、県知事名により表彰する。

柏谷教育長に 永遠の別れ

めい福祈り焼香

400人が参列人柄しのび

故柏谷秀一教育長の葬儀が五月一日午前十一時から、市浦村コミュニティセンターでしめやかに行われ、柏谷さんとのよかりの深かった参列者ら約四百人が、永遠の別れを告げました。

柏谷教育長は、去る四月二十日午前十一時四十分、心筋

梗塞(こうそく)のため、北郡金木町の公立金木病院で死去しました。

村議会議員、村長、教育長等を歴任し、三十五年もの長い間村政発展に功献した柏谷さんの葬儀を、村葬で行うことを決めた村では、四月三十日午後六時から通夜、五月一日午前十一時から葬儀を行いました。

葬儀には、柏谷さんとゆかりの深かった友人、知人、関係者ら約四百人が参列し、葬儀委員長の三重賞村長が「三十五年間もの長い間、常に村政の中枢にあり、政治手腕を発揮したその功績には偉大なものがあつた。柏谷さんの意

志を引き継ぎ、村政発展に努めます」と、弔詞を読みあげたあと、青山又一村議会議長、白川行雄教育委員長の弔詞に続いて、小学時代柏谷さんの恩師であつた角田豊夫先生と柏谷さんの孫娘にあたる柏谷美沙ちゃんがあんなに元気だつたのに、話をすることでもできなくなりました。やさしかったおじいちゃん、天国で私たちを見守ってください」と別れの言葉を述べ、参列者の涙を誘いました。

柏谷さんは、二十代にして相内村産業組合長に就任、農業協同組合長、農業共済組合長を歴任したほか、三十代では相内村議会議員として初当選し、政治家としてのスタートを切りました。

以来議員歴五期、うち議長職二期を務め、常に議会議長のカナメとして手腕を発揮しました。

昭和三十八年から二期八年にわたつて市浦村長に就任し一般行政にも手腕を発揮、村の歴史を画する重要案件を次々手がけ、成功させました。

柏谷さんの手がけた重要案件の主なもの、町村合併、農協合併、市浦中学校統合等があり、新しい村づくりへの骨格形成を確立させました。

昭和五十八年から、市浦村教育長に就任し、現職、昭和六十一年春の叙勲で、勲四等瑞宝章を受章しています。



故柏谷教育長の葬儀は村葬で執り行いました。



「おじいちゃん、天国で見守って……」別れのことを述べた美沙ちゃん。



焼香する妻きよさん



お礼のことはきよさん、喪主の柏谷様さん。



葬儀には、約四百人の友人、知人が参列しました。

中の島公園オープン

ファミリーが 自然を満喫

城跡、唐川城跡、山王坊遺跡、大沼公園等の遊歩道、史跡ルート、観光施設を整備し、観光振興により、地域の活性化をめざしています。

観光の拠点となる十三湖中の島公園には、ローラースケート場や交通広場、ゴーカート場・取納庫、公衆便所などが完成し、昨年七月オープンさせましたが、今年も四月二十九日からオープンさせ、ゴーカートやローラースケートをを楽しむ親子連れでにぎわっています。



中の島公園がオープンし、ゴーカートやローラースケートを楽しんでいます。



炊事も安心です——野外炉



キャンプ場内の公衆トイレも完成

十三湖中の島公園内に建設中の十三湖キャンプ場(仮称)が、このほど完成し、近々オープンすることになりました。本村には、年間十二万人の観光客が訪れていますが、キャンプで訪れる人も年々増えています。

近くの住家を利用するなど、不便な状態が続いていた。このほど完成したキャンプ場は、中の島公園の交通広場(ゴーカート場)、ローラースケート場に隣接しています。現在、炊事をするための野外炉や公衆便所なども完成したことから、テントサイトの確認・管理運営体制の確立など、供用開始へ向けて準備を急いでいます。

お待ち、せ!

キャンプ場が完成

近々供用開始

福島城跡展望台完成

高さ13mの鉄骨造り

見張りやぐらをイメージ

跡外堀の土塁を保存するための整備をしたほか、城跡本丸の櫓柱木柵、案内板等を設置して利用に供してきましたがこのほど、福島城跡展望台を完成させました。

展望台は、福島城本丸跡の南側に位置し、国道三三九号線沿いに建設。

三六・八平方メートルの鉄骨造りの展望台は、高さ十三メートルで、当時のやぐら、見張り台のイメージを取り入れ、一千八百五十五万円の工事費を投入しました。

同展望台からは、福島城跡を全うできるほか、十三湖、日本海、岩木山等も眺望できます。



福島城跡に建設された展望台には、安東氏の家紋が取りつけられています。

海と山と湖と、美しい自然に恵まれている本村は、地域の魅力を掘り起そうと、昭和六十年代から「安東文化のふるさとづくり」に着手し、安東氏に係る遺跡の保存、遊歩道、展望台などの事業を計画的に進めています。

「安東文化のふるさとづくり」は、昭和六十年度から青森県がスタートさせた「過疎地域活性化プロジェクト事業」と、国土庁の「山村地域資源高度活用促進モデル事業」に相次いで指定されたことから始まりまし。

脇元小・十三小

児童らの手で サケの稚魚放流



大きくなって帰って来/サケの稚魚を放流する脇元小の児童



放流事業には、毎年参加している十三小の児童

かわい、いぬ
元気に帰って来いよ

サケの増殖事業倍増計画をすすめている村では、昭和五十四年度からサケ・マスふ化放流を実施していますが、今年も四月二十七日と二十八日の両日、脇元小学校、十三小学校の児童らを招き、磯松川と十三湖前河に稚魚の放流を行いました。

サケの放流事業は、県が打ち出したサケ資源増大計画に呼応してすすめられ、昭和五十四年からサケ・マスふ化場を磯松山国有林(通称・板割山)に建設し、ふ化放流事業に着手しています。今年同様放流した稚魚は、昭和六十二年一月十一日北海道渡島半島から移入してふ化した二百二十万匹と、一月十三

日、下北部東通村老部ふ化場から移入してふ化したもの合わせて約三百万匹。

体長五センチから六センチほどに成長したサケの稚魚は、児童らの手によって放流され、元気に泳ぎまわっていました。

サケの放流事業は、これまで十三湖中心に行われていたため、地元十三小学校の児童らの協力を得ていましたが、今年からは磯松川からも放流することになったため、地元脇元小学校の児童らにも、ふ化放流事業の主旨等を知ってもらうため実施したので、サケは、三、四年後生まれ

育った川に帰ってくるという、漁業関係者は「放流したうちの四子尾ぐらいは戻ってくるだろう」と期待をかけています。

秋サケは近年、本県の大平洋、津軽海峡、日本海沿岸海域でも豊漁が続いており、ふ化放流事業の成果が出ていると思われています。

村では今後も、ふ化放流事業を継続させる予定ですが、捕る漁法も含めて漁業関係者と協議し、漁家所得の向上に結びつけた考えです。

庭園整備に汗 市浦中PTAが労力奉仕



市浦中学校PTA(八木沢良藏会長)では、五月十七日会員らが手弁当で労力奉仕を行い、庭園づくりや校舎周辺の環境整備に汗を流しました。この労力奉仕は、同PTAの生活環境委員会(委員長・島津典明)が、「子供たちによりよい環境の中で勉強してもらおう」と、毎年行っているものです。

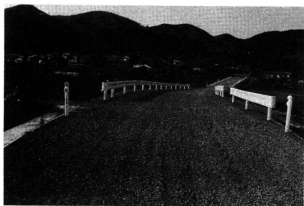
例年であれば、午後四時ごろから約二時間ぐらゐの範囲で、会員の協力をお願いしていましたが、同校には今年三月、「緑化思想の普及と教育環境の整備」を目的に、庭園がつけられました。

写真

労力奉仕で市浦中の庭園を整備するPTA会員。

猿賀小路線開通

防災・通学にもひと安心



完成した脳元地区の猿賀小路線

脳元地区の生活圏連道路として建設中の二級村道猿賀小路線改良工事が、このほど完成し、四月一日から一般供用が開始され、地区住民に喜ばれています。

猿賀小路線は、道路の幅員が狭く、袋小路となっていたため、同地区で火災や事故等の発生を想定する地区住民には、心配の種であり、同路線の早期着工が待たれていました。

村では、道路整備計画に組み入れ、用地取得交渉や、財源対策を進めてきましたが、そのメドもつき昨年十二月、同工事に着手し、総工事費二千五百七十七万八千円を投じて、延長二百八十九メートル、幅員五メートルの道路を完成させました。

この道路は、赤川線（公民館道路）と連結されたことから、地区住民の重要な生活路線となるほか、通学道路としても利用され、防災、交通安全の面で、関係者からも喜ばれています。

十三地区の街頭指導



チャランを配る相内の母の会々員



村では、今年も牛の放牧が始まり、五月七、八の両日岩井実取の牧場に四百七十五頭の黒毛和牛が放牧されました。

冬の間、農家で飼育されていた牛が朝早くからトラックなどで運び込まれ、家畜保健衛生所から派遣された係員が病気がないか、どうか念入り検査。

放牧された牛は、十月の終牧まで六カ月間、広々とした草原で、のんびり過します。

村内には現在、一千二百九

市浦牛の放牧始まる

草原にはしゃぐ子牛

またれた百八十七頭の子牛も、体重計に乗せられ、鼻紋をとって初登録されました。

子防注射や検査を終えた牛は、農家の人たちに見守られながら元気に走りまわっていました。



広々とした草原で草を食む市浦牛(岩井牧場)

頭の牛が飼育されていますが、その内訳では、肥育牛六百六十六頭、繁殖牛五百二十九頭、乳牛十四頭となっています。

十六頭、繁殖牛五百二十九頭、乳牛十四頭となっています。

交通安全 春の運動で街頭指導

事故防止呼びかける



春の全国交通安全運動は、五月十一日から五月二十日まで

で、全国一斉に行われました。市浦村でも期間中の五月十一日から三日間、十三、相内脳元地区の順で街頭指導を行い、村交通安全対策協議会、地区安全協会、交通安全母の会、小・中学校などの関係団体が、通動、通学者らに交通安全を呼びかけました。

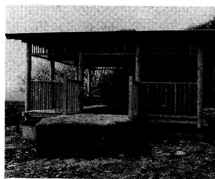
街頭指導には村三役や各学校長、母の会などから約五十人が参加。午前七時半から約一時間、チャランを配布し、思いやりとゆすり合いの心で交通安全事故防止に努めました。また、歩行者も交通ルールを守って、事故にあわないようにと、呼びかけました。

唐川城址 (2)

奥の細道



▶ 79 ◀



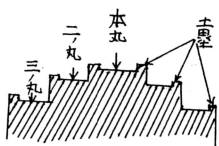
▲唐川城跡展望台

この唐川城址は、安倍

探訪者ぞくぞく

光客が押すを押すの盛況

唐川城断面



ここは大正末年に現十三

安藤氏の城郭であるので昔

よりです。

いく分変容

からたたくさん人びとが訪れています。かの江戸時代の有名な本草学(薬草を研究する学問)、民俗学の泰斗菅江真澄が寛政八年(一七九六)六月二十三日(新暦の七月二十七日)に登つています。このことは後ほど申し上げます。最近では安東ブームで歴史学者や観光客が押すを押すの盛況

ところがガイドがつかないで訪れた人びとのなかには案内現在の展望台の箇所に築城されていたものと勘

違ひして、「絶景かな絶景かな」と、日本海・十三湖

・岩木山を觀照して帰るのとが多いといます。

水戸口新設の節の岩石を懸

採したために平坦化されたところで、また、頂上の本郭の井戸址は成知れない大きな窪みとなり、落葉に埋められていますが、もとは板製の井戸枠が見えていたものと思います。故山内委員長の話によれば、発掘したことがあつたが底が岩盤のために断念したのだとい

われます。さらに道路の整備によつて城址の一部が前された傾向も見られ、以前と比べいく分変容していますが、城跡としての大體を今に保存してきたことは喜ばしいことであす。

山城

唐川城址は、福島城の出城といわれています。本城福島から張り出している曲輪のことです。自然の要害を利用した典型的な山城です。専門家によると、本郭と二ノ郭、三ノ郭という構築になっています。凸型で(図面参照)大袈裟にいえば、「天空にすつくど聳えた」摩天城でも表現できそ

な、偉容を示していたもの

で、前述の井戸址は本郭内に掘削されています。福島城は平城で、城主の居館があり、家臣団の屋敷があり、一般良民の出入も自由に許されたものと思われのに対し、この唐川城は明らかに戦間を意識した城址であると考えられます。

築城年代

このことについては不明でありますが、「十三藩新城記」によると、福島城が安徳貞季公が正和年中(一一三二-一一三六)に築城したと書かれていますので、その出城である唐川城は同年に築かれたものと一応考えられます。

それは、中腹の竜興寺(春品寺)址から出土した金銅仏は鎌倉末期あるいは南北朝時代の作だといわれていることからなすけるわけです。おそらく当時貞季は福島城にいたと思われるので、嫡男の盛季が唐川城にいたものと想像されま

津軽のことわざ

まの部

馬ア撫で柄 人は洗濯柄
馬の良否は飼養者の愛育いかんによつて決まり、人は服装によつてかわる。

馬アねずみ捕わね工 大きいばかりが能ではないということ。

水アさくらわれね工 失敗はとりかえしがつかないこと。(覆水盆に返らず)

蔀がね工種(蔀がね工) 工にもしないのはよい報いを期待しても得られないこと。

原因のないところに結果はないこと。

時とる 夜早く寝て新を節約すること。

馬食つた犬の口 ①好物に夢中になるさま。②女の口紅のどきついのを諷刺したこと

擗木で腹切る 出来ぬこと。申しわけを立てるという時におどけて言う。

間違えど氣遣え無えもんでね工 間違いと氣遣いとはどこにもあるもの。

樹で計つて算でこぼす 苦勞して得たものをあつけないこと。

眼サ入れてもいじくない いたく可愛がること。

情報をお寄せください

おしらせ

役場の電話は62-2111



中の島公園には、乗り物がいっぱいあるから、楽しいんだ。お母さんと一緒にバンダに乗りこんだよ。

長女 茉世ちゃん

成田 豊さん(監元)



すこやか日記

山菜採りでの遭難 事故をなくそう

北国の遅い春とともに、今年も楽しい山菜採りのシーズンがやってきました。

近年、自然食ブームを反映して、山菜採りを楽しむ人が年々増えており、日曜・祝日もとなると県内の山々は大変なごみをみせます。また、マイカーの普及によりだれでも気軽に山奥まで入れるため、例年この時期には遭難事故が後を絶ちません。

遭難事故には、人に連れられて地理のよく分からない山に入り、はぐれて下山できなくなったり、危険な場所で山菜採りをして転落するといった例が多く、入山者は十分注意する必要があります。そこで、遭難事故に遭わないために、次の「入山十章」を必ず守りましょう。

1. 天気予報をよく確かめる。
2. 薄着をせず簡単な雨衣、マッパ(ライター)のほか、食糧を多めに持つ。(食糧は車の中に置かず、必ず身に着ける)
3. 家族や同僚に、入山コース、帰宅時間など、行動予定を知らせておく。
4. 地理の分からない山には入らない。
5. 自分の体力に合った行動をとる。
6. 入山する際は、警笛を用意しお互いに呼び合って位置を確認する。
7. 山で別行動をとる場合は、集

- 合時間、場所コースなどをよく打ち合わせ、必ずこれを守る。
8. 天候が悪くなりそうなどは早めに切り上げる。
 9. 迷ったら無理に歩き回らず、小枝を燃やすなどして救助隊に知らせる方法をとる。
 10. 帰宅予定時間を過ぎてても帰らないときは、警察に届けるよう家族などに話しておく。
- 以上のことをよく守り、山菜採りによる遭難事故を防ぎましょう。

歯の衛生週間

今年も6月4日から1週間におたりの歯の衛生週間が始まります。この週間は、正しい歯科衛生知識の啓発・普及を図ることにより国民の健康づくりに役立つことをねらいとしています。

◆一生自分の歯のために歯は健康を維持するためにとても大切です。

特に、小児のむし歯や永久歯の萌え始める5歳頃からのむし歯は、全身の発育や健康、性格形成に大きく影響するため、早期発見、早期治療を心がける必要があります。むし歯に対する関心は年々高まっていますが、歯は目や耳が悪くなることより安易に考えられ、「歯は萌えかわるからいい」「なくなったら入歯を入れればいい」とまだまだ思われているようです。

◆子供のむし歯を防ぐために子供のむし歯を防ぐためには、正しい歯みがきの方法を6歳頃までに身につけさせ、歯と口の中を

きれいにすること、また、むし歯に対する抵抗力をつけるため、日頃から食生活や生活習慣を正すことが大切です。

◆歯の健康を守るために

1. 発育に必要な栄養分(特に小魚や牛乳などカルシウムを多く含む食品)を十分にとるようにしましょう
 2. 砂糖を多く含む食物は控えるようにしましょう
 3. おやつは、時間と量を決め、正しく与えるようにしましょう
 4. おいしさを楽しんだ後は、すぐうがいや歯みがきをしましょう
 5. 寝る前には、必ず歯みがきをしましょう
 6. 歯の定期検診を習慣づけましょう
 7. 歯の異常に気づいたらすぐに診てもらいましょう
- 以上のことは、子供だけでなく家族みんなが一緒に努力することが必要です。
- 歯の寿命を少しでも延ばし、健康で生活するためにみんなががんばりましょう。

◎生命保険と税金

あなた自身やあなたの家族を受益人とする生命保険料、簡易生命保険料、生命共済の掛金などを支払ったときは、支払額に応じて、一定額が生命保険料控除として、その年の所得金額から控除されます。また、保険金を受け取ったときは、保険料をだれが負担していたかによって相続税、贈与税あるいは所得税がかかります。詳しくは、最寄りの税務相談室や税務署にお尋ねください。

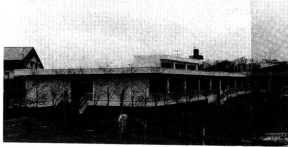
特別養護老人ホーム

静和園の整備完了

国民年金積立金の
還元融資事業

国民年金積立金の還元融資を受けて進められていた「静和園」の整備(増設)事業が完了し、四月一日から入所定員八十名により、運営が開始されました。

入所を希望される方、あるいは「入浴サービス」、「在宅老人短期保護事業」を希望される方は、市浦村役場民生課、または直接静和園(電話・五七―三〇一)へお問い合わせてください。



完成した静和園

健康の道

信頼と暖かい心にふれて

鳴海 ハル
(太田・63歳)



医師や看護婦さんの熱心なすすめもあって、大学病院へ移ったのは六十年の秋でした。他人の話を恐ろげられて拒み

十一年前から心臓に動悸が打ち、胸が苦しくなるなどの自覚症状が出ていました。西北病院で、心臓弁膜症と診断されて以来、救急車で運ばられること数回、その間西北病院にだけでも六回の入院を繰り返していました。

医師や看護婦さんのすすめで、一時は大学病院での検査をする覚悟はして見たものの、病弱であることに加え、「検査は死ぬほど苦しいもの」と

拒み続けること恐怖心から、五十九年十二月、急激な痛みにおおわれ、西北病院に再入院。安静治療が八カ月間の病院生活でしたが、六十年八月、一時退院。しかし、一

カ月もしないうちに病院へ帰ることになり、この時はもう、体重も三十%までに減り、「死」を覚悟したものでした。

乗りに始めたばかりの私は、立っているのがやつとですが、ボードが走り出した時の快感は、何も無いようなものです。

検査経緯をみながら、手術をしたのは六十一年三月十八日。弘前の大学病院には、市浦の人たちが五十人も、いや百人も顔がいたように思います。私が手術をするために輸血に求られたのです。

物事を始めるとするときは、私のような特別患者にならないために、一日も早く検査をして、適切な治療を受けるよう、おすすめた心です。

村内には、心臓病に悩んでいる人もいいますが、私のような特別患者にならないために、一日も早く検査をして、適切な治療を受けるよう、おすすめた心です。

四月二十三日に退院して、もう一カ月。手術前のあの苦しきは、どこへ行ったのでしょうか。いま、どうもできるよになりました。

いま、こうして元気に笑ってられるのも、輸血をしてくれた人、励ましてくれた村民、検査、手術してくれた医師、看護婦さんのおかげであり、看護を信頼することの大切さを身にしみて感じています。

ワインディングロードでストレス解消

小寺 昭直
(相内・24歳)



昨年、B&G財団から市浦海洋クラブへ、ワインディングロードが二艇配備されました。クラブ員たちのワインディングロードに対する人気が高く、艇庫開きを楽しみにしている。本村には、大沼や十三湖があり、風速などの条件もよく絶好的环境下にあります。

乗りに始めたばかりの私は、立っているのがやつとですが、ボードが走り出した時の快感は、何も無いようなものです。物事を始めるとするときは、私のような特別患者にならないために、一日も早く検査をして、適切な治療を受けるよう、おすすめた心です。

村内には、心臓病に悩んでいる人もいいますが、私のような特別患者にならないために、一日も早く検査をして、適切な治療を受けるよう、おすすめた心です。

こんにちは赤ちゃん

飯島 章文さん(相内)

長女優奈ちゃん(7ヵ月)

お店があるのでみんないそがしいんです。でも、お父さんは、とてもかわいがってくれるし、お母さんも、おばあちゃんも大好きです。



奈良 睦美さん(太田)

長男太樹ちゃん(1歳)

ヤン坊、マー坊天気予報!? 太樹ちゃん、テレビのキャラクターが大好きです。



- 武田 紗実(太田) 秀機
- 橋引 良太(脇元) 松美
- 石岡 春香(脇元) 昌浩
- 近藤 祥平(十三) 昌浩
- 西藤 真美(磯松) 浩三
- 葛西 美保(磯松) 浩三
- 中島 優美(十三) 成樹
- 三和 将大(相内) 悦樹

- 外崎 勇三(脇元)
- 門 傳 聖子(神奈川)
- 成 田 剛次(中里)
- 米 谷 美穂子(相内)
- 山 田 幸男(脇元)
- 三 浦 ふじ子(相内)
- 松 山 茂樹(鯉ヶ沢)
- 秋田 谷 悦子(十三)

おくやみ

戸籍の窓

お誕生



ご結婚

